

■会長 徳久 京子 ■幹事 藤原 新一 ■会場監督 小林 大二郎
例 会 場 東京都町田市原町田3-2-9 TEL 042-724-3111(代)
〒194-0013 レンブラントホテル東京町田
事 務 局 相模原市南区相模大野3-14-10 第2足立ビル4F
〒252-0303 TEL 042-746-4108 FAX 042-746-5106

Vol.52

第2458回例会

No.22

令和5年2月7日

■会長の時間

会長 徳久 京子

立春をすぎて、梅と福寿草の季節がやってきました。空気の乾燥も少し和らいできたようで、朝晩の空気に湿り気を感じるようになりました。

さて、今月のロータリーは「平和構築と紛争の予防月間」です。ロータリーボイスという世界中のロータリアンの投稿記事が掲載されているブログに、平和構築の方法について、わかりやすい記事がありました。ロータリーの多くの活動は平和構築に繋がっていることがよく分かると思いますので、ご紹介します。



方法その1 財団補助金事業

ロータリーの重点分野(疾病予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育と識字率の向上、経済と地域社会の発展)は、全て平和構築と関連しているので、財団のグローバル補助金を活用して、重点分野におけるプロジェクトを支援することは平和構築活動に繋がります。

方法その2 次世代を育成する

平和構築と開発の分野のリーダーを育成する「ロータリー平和フェロシップ」や、ロータリーの重点分野と一致する専攻の学生を「グローバル補助金」で学生を支援して、将来、平和構築に寄与できる人材を育成することができます。これまでも、ロータリーは緒方貞子さん、中満泉さん(厚木RC推薦)といった方を奨学生として支援しています。

高校生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできる青少年交換プログラムもロータリーによる次世代育成の一つです。地域の高校生を海外に派遣したり、ホストファミリーになって海外からの高校生に日本文化を教えることは、未来の平和づくりに貢献することです。

方法その3 地域社会で対話を促す

市民を招いてパネルディスカッションや講演会を開催し、平和に関する対話の機会を設けることも平和構築活動になります。地元団体と共同で催したり、平和フェロシップや奨学金の学友をパネリストとして起用したりするのも一案ですし、若い世代を対象に、平和に焦点を当てたインターアクトの活動やRYLAイベントを実施することもできます。

方法その4 ロータリアン自身が国際的交流をして異文化理解を深める

国際大会や例会のメイクアップをはじめとしてロータリーには国際交流の機会がたくさんあります。交流により互いを理解し合うことが平和構築の第一歩になります。

■幹事報告

幹事 藤原 新一

・今月の例会は、
来週14日は相模原南警察署長・重岡様の卓話

21日は休会

28日はクラブフォーラムです。

・4月27日(木)は黒河内三郎さんの100歳記念例会となります。うかい亭にて18:30開始予定です。

(3月28日の夜間例会は当該例会への振替となります)

・同じく4月27日(木)は第5G親睦ゴルフコンペです。

・延期となっています、幼児サッカー教室の日程は5月20日(土)に決まりました。

・炉辺会は2月末までの開催でお願いいたします。

・前年会費のうち、6月に行った米山寄付(5,000円/人)、財団寄付(3,810円/人)の領収書を配布しております。

・My Rotaryの登録でお困りの方、お声がけください。

■イニシエーションスピーチ

三枝 富博

今日は3つのことを話します

(1) 生まれてから社会へ出るまで

(2) 中国での体験、学び

(3) 日本へ戻ってから～現在まで

トライ&エラーの連続で今も続いている

1949年、団塊生まれ。相模台 谷口台、大野関中、県立相模原高校、そして、明治大学 法学部へ

ワンパカー途でほとんど勉強嫌い、落ち着きのない子供だった。

中学は、14～15クラス、1クラス60人。常に競争、常に評価され選別された。

仕方ないと思っていた。

大学に入り、大学紛争。世の中、社会が変わらねばいけないという渦の中へ。

自分のやりたいことに集中できなかった。

証券会社へ入社。厳しい数字の世界

“業績が人格”と言われた。朝から昼、土日も働いた。成績は良かったが充実感はなかった。

ふと、家の近くにあるヨーカ堂で買い物をしていて、「この仕事だったら簡単。出来るかもしれない。」

と入社。仕事は面白く、現場、本社と文玩の仕事をやり続け、業界では知られるくらいになった。

しかし、社内の体制が変わり、書類を作るのはうまくなったが、充実感とは異なり、「こんなはずじゃなかった」という日々。

そんな時、大きな転機が訪れた。

当時、営業本部長であった埴氏が、中国立ち上げの発令を受け日本を発つ最後のお別れの朝礼の挨拶で言われた言葉が心に突き刺さった。

1人で中国に行く1996年。ひいては一緒に行く同志を求めたい。条件は3つ、

(裏面につづく)

今週の情報	本日のプログラム	卓話
	次会のプログラム	休会
	近隣クラブ例会情報等	

1. 利口はいらない
2. 馬鹿はいらない
3. 大馬鹿がほしい 以上

これは、挑戦したいと本気で考えた。心の持ち方で人生は決まる、ということ。

1996年から中国に渡り、我々が上から目線で、指示命令をしている関係では、信頼は生まれないということを反省し、とことん考えて、我々が考え方を換え、地元の人と同じ目線でやらない限り気持ちはずなげらなと考え、考え方、行動を変えた。

“変わらなければ変わらない”と。

その後、2008年に四川大地震が発生、85,000人の人が死去。まず考えたのは、何が何でも店をあけること。

地震後、何が必要、不足になると判っていた。

そうしているうちにあっという間に20年が過ぎ、「いつまで好きなことをやって遊んでいるんだ、そろそろ戻ってこい」と会社から声を掛けられました。

もう65歳を過ぎていたので、退職勧告かと思っていましたが、あにはからんや(とんでもない)日本の社長をやれ、という辞令でした。

日本に戻り、3ヵ月で180数店舗、全ての店を回りました。

皆やる気があり、社内愛がある。何とか皆の受け身の姿勢を、前向きに積極的に取り組めるような風土をつくらなくてはいけない。

この5年間で30数店の閉店をしました。1700名余りの退職、反面80店舗近くの店舗を改変し、お客様に喜んでもらえる店へ作

り変えもしました。

そうこうしているうちに70代を過ぎ、その先は、若い人にやってもらおうと、人材を育ててきました。

そして、次世代の若い人に社長をお願いし、未だにに厳しい状況が続くが挑戦し続けています。

最後に、ゲーテの言葉を肝としています

- ・財貨を失うのは少なくすこと
 - ・名誉を失うことは多くをなくすこと
 - ・勇気を失うことは全てをなくすこと
- 生まれてこなければよかったということ



人生とは本当にあらゆる課題に、前向きに、勇気をもって取り組むことだと思います。

冒頭、田中PGの“Enjoy Rotary”

言葉のように、小生も“Enjoy Rotary”で楽しんでいきたいと思っています。

■本日のビジター

サ ブンティ
査 雯婷 様 (米山奨学生)



■慶祝

誕生日記念祝

2月9日 岩本 勉君
2月11日 小方 實君
2月11日 吉田 一紀君
2月12日 青木 亜也君
2月12日 中村 辰雄君

誕生日記念祝 (ご夫人)

2月19日 市川 孝幸君 夫人 有加様
2月20日 小野田 勝宏君 夫人 絵美様
2月22日 杉崎 信一君 夫人 満子様

結婚記念日祝

2月7日 青木 亜也君
2月10日 栗林 一郎君
2月26日 中山 智晃君



■本日のスマイルBOX

徳久 京子君、藤原 新一君

★三枝様、本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしております。

足立 旬一君

★経験豊かな三枝様、卓話を楽しみにしております。

長瀬 徹君、柏原 政人君

★三枝様、卓話楽しみにしております。宜しくお願いいたします。

岩本 勉君

★誕生日なのでスマイルします。

栗林 一郎君

★43回目の結婚記念日の記念品をいただき、ありがとうございます。

青木 亜也君

★誕生日プレゼント、結婚祝いをありがとうございます。

中村 辰雄君

★お誕生日プレゼントをありがとうございました。今年で76歳を迎え、後期高齢者の仲間入りしました。免許証更新で認知症検査をやっとパスしました。

小方 實君

★誕生日プレゼント有難うございました。

市川 孝幸君

★妻の誕生日のお祝い、ありがとうございます。

吉田 一紀君

★お誕生日プレゼントを頂きありがとうございます。

若林 美佳君

★先月は誕生日プレゼントをいただきありがとうございます。いぶりがっこタルタルすごく美味しかったです。

■本日のスマイル 32,000円
■累 計 631,000円

□出席報告：出席委員会		2月7日	会員数	出席	メイクアップ	合計	出席 (%)	欠席
前々回 第 2456 回 1月 17日	当日		48 (44)	32	0	32	72.73	12
	修正		48 (44)	32	1	33	75.00	11
第 2458 回 2月 7日		当日	48 (45)	35	0	35	77.78	10

1月17日(修正)完全欠席 = 一ノ瀬、栗林、澁谷(直)、鈴木(雅)、中村(好)、中山(智)、中山(義)、松山、溝渕、宮崎、若林